

II 普及活動

1 美術講演・講座

講演講座を実施することにより、美術に対する理解を深め、教育普及に資するとともに展示事業の広報にも役立て、県民の美術への親しみや関心を高める。

(1) 講演会

開催日	会場	講演名	講師	内容	参加人数
2020(令和2)年 12月5日	アルス ホール	「傑作」の眩惑 —レンブラント、 フェルメールと 17世紀のオランダ 絵画—	寺門臨太郎 (筑波大学芸術系 准教授)	17世紀のオランダ絵画には、 レンブラントの《夜警》やフェ ルメールの《青いターバンの 少女》など大小の「傑作」が 多数ある。作品成立時の社会 背景や近代の美術制度なども 視野に入れながら、誰が「傑 作」(と呼ぶもの)を作りあげ、 わたしたちは「傑作」(と呼 ばれるもの)に何を見ている のかを考えた。	88
合計					88

(2) 土曜講座

開催日	会場	講演名	担当	内容	参加人数
2020(令和2)年 4月25日	—	エドワード・バー ン=ジョーンズと アーサー王伝説	澤渡麻里 (茨城県近代美術館 首席学芸員)	※新型コロナウイルス感染症 の拡大防止のため中止	—
5月9日	—	平山郁夫とシル クロード	今瀬佐和 (茨城県近代美術館 首席学芸員)	※新型コロナウイルス感染症 の拡大防止のため中止	—
6月13日	展示室	幻の横浜焼・東 京焼—明治日本 の輸出陶芸の謎 にせまる—	飯田将吾 (茨城県陶芸美術館 副主任学芸員)	幕末の横浜開港を期に日本陶 磁器の海外輸出が盛んになり、 横浜や東京には多くの陶 磁業者が集まった。この講座 では宮川香山や井上良斎など の代表的な作家を紹介し、明 治陶芸の卓越した技術の全貌 にせまった。	32
7月18日	アルス ホール	鬚嘔の1950~60 年代	乾 健一 (茨城県近代美術館 学芸員)	茨城県を代表する現代アー ティスト鬚嘔の1950~60年代 の活動を、評論家・コレクター の久保貞次郎との関係を中心 に読み解いた。	35
8月8日	展示室	青磁×白磁×青 白磁	芦刈 歩 (茨城県陶芸美術館 学芸員)	「青か、白か、」展出品作を紹介 しながら、それぞれの素材 の特性を活かしたユニークな 展開をみせる、近現代の青磁 と白磁・青白磁の魅力を紹介 した。	66
9月12日	展示室	I 蔵品展 名作のつくりか た	吉田衣里 (茨城県近代美術館 首席学芸員)	茨城県近代美術館を代表する 所蔵作品について、技法や主 題など、作品が名作とされる 魅力をひもといた。	49

開催日	会場	講演名	担当	内容	参加人数
11月14日	アルスホール	人間国宝 松井康成と原清	岩井基生 (茨城県陶芸美術館 主任学芸主事)	茨城県陶芸美術館は、重要無形文化財保持者(人間国宝)の松井康成と原清の作品を数多く所蔵している。講座では、展覧会にちなみ、出品作のなかから選りすぐりの作品を紹介し、人間国宝の優れた技術と表現の魅力を紹介した。	36
11月21日	アルスホール	いま活躍する茨城ゆかりの作家たち	井野功一 (天心記念五浦美術館 首席学芸員)	企画展「6つの個展 2020」の出品作家、一色邦彦、須藤玲子、野沢二郎、國司華子、アビルショウゴ、塩谷良太について紹介した。	32
12月12日	—	小早川秋聲の画業について	塩田稔雄 (天心記念五浦美術館 学芸員)	※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止	—
2021(令和3)年 1月9日	—	国宝修理の実際—新納忠之介「日記」をひもといて	中田智則 (天心記念五浦美術館 企画普及課長)	※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止	—
2月13日	—	茶陶～現代陶芸で取り合わせる楽しみ	花里麻理 (茨城県陶芸美術館 学芸課長)	※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止	—
3月13日	講座室	東日本大震災から10年—復興への取り組みと美術家たち	永宮勤士 (茨城県近代美術館 副主任学芸員)	2011年3月11日に発生した東日本大震災により茨城県も甚大な被害を受けた。美術館やアーティスト、建築家はこの災害とどう向き合い、被災した文化財はどのように復興へと歩みを進めてきたのか。震災から約10年を経た今、茨城の美術文化との関わりを観点に、それぞれの復興への取り組みを振り返った。	14
合計					264

(3) ビデオ鑑賞会

開催日	会場	鑑賞会名	タイトル	参加人数
2020(令和2)年 5月16日	—	手塚治虫の世界①	「鉄腕アトム」の発見 「火の鳥」の発見 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止	—
6月20日	展示室	手塚治虫の世界②・オルセー美術館①	「ブラック・ジャック」の発見 美の革命～クールベ、ミレー、マネ～	16
7月11日	講座室	オルセー美術館②	光と色彩の賛歌～モネ、ルノワール～ 都市の自画像～ドガ、ロートレック～	15
8月29日	展示室	オルセー美術館③	楽園への旅立ち～ゴッホ、ゴーギャン、ルドン～ 世紀末・生命の輝き～アールヌーヴォー、ロダン～	26
9月26日	講座室	オルセー美術館④・ルーブル美術館①	20世紀のかけ橋～セザンヌ、ボナール、ルソー～ 神なる王・ファラオの時代～古代エジプト～	27

開催日	会場	鑑賞会名	タイトル	参加人数
10月17日	講座室	ルーブル美術館②	メソポタミア・流砂の興亡～古代オリエント～ ビーナスの微笑～古代ギリシャ～	21
11月28日	講座室	ルーブル美術館③	皇帝たちの光芒～古代ローマ～ 大聖堂の時代～中世ヨーロッパ～	15
12月19日	展示室	ルーブル美術館④	花開くルネサンス～レオナルド・ダ・ビンチへの道～ 北方ルネサンスのきらめき～フランドルとドイツ～	18
2021(令和3)年 1月23日	—	ルーブル美術館⑤	巨匠たちの饗宴～盛期ルネサンス～ 光と影の王国～スペイン黄金時代～ ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止	—
2月6日	—	ルーブル美術館⑥	バロックの峰～ルーベンスとレンブラント～ 太陽王の世紀～ルイ14世とベルサイユ～ ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止	—
3月20日	講座室	ルーブル美術館⑦	ロココの華～ルイ15世の時代～ ロマン派宣言～激動の19世紀～	12
合計				150

(4) ワークショップ

開催日	会場	講座名	講師	内容	参加人数
2020(令和2)年 8月22日	講座室	「ジオラマの世界をつくってみよう！」	金子典子	小学校4～6年生を対象に、絵の具、クレヨンなどの画材や、ビー玉、折り紙、紙粘土、ストロー、紙コップ、木材などさまざまな材料を組み合わせ、箱の中に好きなテーマでジオラマの世界を製作した。	20
11月7日	講座室	「ランタンツリーをつくろう！」	深谷治之 (首席学芸主事)	小学校4～6年生を対象に、暗い場所でランタンツリーにあかりを灯したところを想像しながら、絵の具、クレヨンなどの画材や、折り紙などの素材を自由に使ってデコレーションした。	20
合計					40

(5) イベント(貸ギャラリー利用者による展示室でのギャラリートークなど)

開催日	会場	展覧会名	内容	講師	参加人数
2020(令和2)年 9月27日	展示室	南風の伝言2020「沖縄も私～つながっていること つなげること～」	ギャラリートーク	出品者	36
11月28日、 12月5日	展示室	残響—reverberation— 30years and from now on 30年の軌跡 そしてこれから 山中宣明個展	ギャラリートーク	山中宣明	151
11月29日	展示室	残響—reverberation— 30years and from now on 30年の軌跡 そしてこれから 山中宣明個展	宮田徹也氏との対談	山中宣明 宮田徹也	55
合計					242

(6) その他(茨城県つくば美術館主催の展覧会など)

会期	展覧会名	展示内容	入場者数
2020(令和2)年 7月23日(木) ～8月23日(日)	つくば美術館所有 ポスター&図録展Ⅱ	2020年1月に開催した「ポスター&図録展」の第二弾。前回好評だった、当館が保有している絹谷幸二作の長野オリンピックポスターも含め、茨城県近代美術館の1997年から約10年間のものや、茨城県陶芸美術館の開館から現在までのものを中心に、当館及び全国の美術館の展覧会ポスターや図録等を一同に展示した。	1,322
合計			1,322

2 お絵かき(講座室)

幼児や小学生用の画集、絵本、図工書を備えた書架があり、それらを参考に自由にお絵かきができるブースを設置している。また、職員で作成した塗り絵があり、子どもを中心とした多くの人に利用されている。

総利用者数 72人

3 ホームページ(<http://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp/>)**●概要**

美術館利用者の利便を図り、美術館の情報を発信することを目的としてホームページを作成し、展覧会やイベント案内、貸ギャラリー等の利用案内に関する情報発信を行っている。作成は職員が行っており、毎週内容を更新するとともに、必要に応じて情報を発信している。

●ページ構成(令和3年3月現在)

- ①トップページ
 - ・開催中の展覧会
 - ・おうちで遊ぼう!つくぞうぬりえ
 - ・イベント情報
 - ・美術館からのお知らせ
- ②貸ギャラリー
- ③スケジュール
- ④展示室利用案内
- ⑤土曜講座
- ⑥ビデオ鑑賞会
- ⑦美術講座・ワークショップ
- ⑧施設紹介
- ⑨利用案内・地図
- ⑩過去の企画展
- ⑪つくぞう&つくみの部屋
- ⑫問い合わせ

●関連リンク

つくば美術館公式Twitter
 いばらきの美術館・博物館
 いばらきチャットボット 県立美術館

●アクセス数 26,045件**4 メールニュース**

美術館の展示内容を紹介するニュースレターを、展覧会ごとに希望者に配信している。ホームページの美術館からのお知らせ欄から申し込みを受け付けている。令和3年3月現在、50名に配信している。

5 広報活動一覧

各種広告媒体を活用し、美術館及び美術館活動に対する理解を深めるとともに、来館者からの意見・要望を広く聴取し、美術館運営の参考とした。

区分	内容	参考
印刷広報	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度ギャラリー展の記録 2021年度展示予定表 	A4判54ページ：450部 A4(巻三つ折)：15,000部
県広報媒体利用による広報	<ul style="list-style-type: none"> 県教職員広報誌「教育いばらき」 県広報紙「ひばり」 	県内各学校及び全教職員を対象に配布 新聞折込(全戸配布)
報道機関等への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 記者クラブ、支局等への資料提供 取材協力、中継協力 	<ul style="list-style-type: none"> 貸ギャラリー関連 (茨城新聞 2020(令和2)年7月11日付) (茨城新聞 9月23日付) (朝日新聞 9月26日付) (読売新聞 11月27日付) (茨城新聞 11月28日付)
報道機関等への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 記者クラブ、支局等への資料提供 取材協力、中継協力 	<ul style="list-style-type: none"> 土曜講座関連 (読売新聞 2020(令和2)年7月17日付) (茨城新聞 7月25日付) (読売新聞 11月13日付) 美術講演会関連 (読売新聞 11月27日付)
出版社等への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 資料提供 	<主な掲載紙> ・常陽リビング ・常陽藝文 ・新美術新聞 <主な掲載誌> ・美術の窓 ・月刊美術

6 広報印刷物

- 令和元年度ギャラリー展の記録 2020(令和2)年9月
- 展示予定表 2021(令和3)年3月
- 美術講演会チラシ 2020(令和2)年12月
- 「ジオラマWS」チラシ 2020(令和2)年8月
- 「ランタンツリーWS」チラシ 2020(令和2)年11月
- 「つくば美術館所有 ポスター&図録展Ⅱ」チラシ 2020(令和2)年



令和元年度ギャラリー展の記録



展示予定表



美術講演会チラシ



「ジオラマWS」チラシ



「ランタンツリーWS」チラシ



「つくば美術館所蔵ポスター&図録展II」チラシ

III 図書その他の資料収集

種別	令和元年度まで	令和2年度	総数
図書他	8,146	127	8,273

IV 協力活動

1 ボランティア活動

各人週1回の活動参加を基本とし、活動内容毎のグループを組織している。連絡網をつくり、美術館、ボランティア相互の連絡を密にしている。

●ボランティア登録者

20名

●活動内容

- ①資料整理
- ②広報
- ③講座等補助
- ④定期総会の開催

2 学校及び関係機関との協力

- ① 筑波大学
講演会「傑作」の眩惑ーレンブラント、フェルメールと17世紀のオランダ絵画ーを開催。
- ② つくば市
第8回つくば美術展～ゆらめく～、第20回チャレンジアートフェスティバルinつくばを開催。
- ③ つくば文化会館アルス協議会
文化会館アルスの運営と地域文化振興のため、つくば市立中央図書館とアルス協議会を開催。
- ④ その他教育機関
茨城県高等学校総合文化祭美術展覧会を開催。